



蕨を伝える「自慢の逸品」を  
ご紹介します

# WARABI BRAND



蕨 市

# 蕨を伝える自慢の逸品「蕨ブランド認定制度」

蕨市では、にぎわいあふれる元気なまちづくりに向けて、双子織やわらびりんごなど、蕨の優れた地域資源を生かした蕨ブランド戦略を進めています。その一つが、蕨の逸品を市が自信を持ってお勧めする「蕨ブランド認定制度」です。

2016年に同制度を創設し、2019年度は認定期間の3年を迎えることから、新たな蕨ブランド認定に向けて、5月から6月に募集を行ったところ、8事業者から11品の申請があり、7月の一次審査、11月の最終審査を経て、この度、5事業者5品を蕨ブランドとして認定いたしました。また、これまでの蕨ブランド認定品5品についても更新の認定を行ったことから、蕨ブランド認定品は10品となりました。



今回認定された5品はいずれも、蕨が誇る事業者や郷土愛あふれる新たな事業者の皆さんの熱意により開発された商品ばかりです。ぜひ、このパンフレットをご一読いただき、「この商品にはこんなこだわりが詰まっているのか」、「蕨にこんなすごい会社があったのか」と、会話を弾ませていただければ幸いです。きっと市民の皆様の蕨への愛着も深まることと思います。

2020年2月 蕨市長 頼高 英雄

蕨ブランド認定品

## Contents 目次

WARABI BRAND

株式会社マイクロエース C11-304 蕨保存車	4
株式会社ニニ 双子織トラックジャケット	6
有限会社染太郎 蕨書き順Tシャツ	8
蕨双子織夢工房 双子織日傘	10
一般社団法人蕨ブランド協会 わらびの蕨もち	12
MAP	14



### 第一期蕨ブランド認定品をご紹介

「蕨ブランド認定制度」は、歴史やストーリー性など蕨らしさを有した優れた商品を蕨ブランドとして認定する制度です。認定品を積極的に発信することで、地域産業の振興と市のPRへとつなげます。

2016年度に創設された蕨ブランド認定制度では、9事業者24品の申請があり、地域性や独自性、将来性などを総合的に審査した結果、右の5事業者5品を第一期蕨ブランド認定品として認定しました。2019年度は認定期間の3年間を迎えたことから、更新審査を行い、いずれも市のPRにつながる実績が認められたため、引き続き3年間の更新認定を行いました。

#### 株式会社ワイアンドシー IBIZA 双子織バッグ



##### 素材を生かしたものづくり

素材の特徴を最大限に生かし、丁寧に人の手で仕立て上げるIBIZAと双子織のコラボレーションバッグ。1点物が多く、ポーチなどの小物もあります。なお、ご購入は銀座ショールームか「WARABI SELECT SHOP」または下記、「蕨双子織特設ページ」からとなります。

#### 株式会社ワイアンドシー

住所 埼玉県蕨市塚越2-11-20  
電話 048-434-1002  
ホームページ <https://futako.saitama.jp/item/ibiza/>  
※蕨商工会議所「蕨双子織特設ページ」イビサ商品一覧  
営業時間 平日 午前9時～午後5時

#### 有限会社上田衣料 蕨上田オリジナル着服



##### 時代に左右されない カッコよさを提案

1968年創業の蕨を代表する蕨専門店。商標登録している「蕨上田」の刺繍が入ったオリジナル着服は、デザインや機能性にこだわり、県内外の幅広い職人さんから厚い信頼を得ています。定番の「超々ロング」は、同店が時代を先取り提案したもので、今では他のメーカーでも主流に。

#### 有限会社上田衣料

住所 埼玉県蕨市塚越2-3-13  
電話 048-442-0295  
ホームページ <http://store.shopping.yahoo.co.jp/tobiwarabiueda/>  
営業時間 平日 午前8時～午後8時  
日・祝日 午前9時～午後8時

#### 株式会社プラスト工房 蕨硝子 (河鍋暁斎シリーズ)



##### ひと手間加えた新しいサンドブラスト加工

蕨硝子は、圧縮空気で砂を吹き付けてガラスを彫刻するサンドブラスト加工に、熱処理を加えて表面の質感を滑らかにした自社ブランド。デザインは、蕨にある河鍋暁斎記念美術館の所蔵作品の中から骸骨をモチーフとしており、ユーモア溢れる商品となっています。

#### 株式会社プラスト工房

住所 埼玉県蕨市北町3-6-2  
電話 048-475-4839  
ホームページ <http://blastkoubou.co.jp>  
営業時間 平日 午後1時～5時

#### 有限会社クチュールカワムラ 蕨双子織ショルダーバッグ



##### 伝統的な物を 日常に寄り添うかたちへ

江戸から大正時代まで蕨の産業であった蕨双子織を現代的にアレンジ。帆布と組み合わせることにより、全て布製となるため、軽くて丈夫です。また、長い間使用することで手触りが良くなり、蕨双子織とともに独特な風合いが出て、愛着がわく商品となっています。

#### 有限会社クチュールカワムラ

住所 埼玉県蕨市中央3-2-9  
電話 048-445-4305  
ホームページ <http://couture-kawamura.com/>  
営業時間 午前10時～午後7時(水曜日定休)

#### わらびりんご生産管理団体 わらびりんごサイダー



##### 地域で愛される 数量限定のサイダー

蕨で誕生した日本一の極早生種・わらびりんごを活用したまちおこしの一環として、まちぐるみで取り組み、商品化された地サイダー。その年に市内で採れたりんごを果汁に使用し、りんごの特徴である、酸味を生かした大人向けのサイダーとなっています。

#### わらびりんご生産管理団体

(蕨市商工生活室内)  
問い合わせ 電話 048-433-7750  
※サイダーはスマイル松原売店か市民体育館で販売しているほか、市内の催しで購入できます。

## ファンの夢を乗せて走るNゲージ 異彩を放つ圧倒的な商品数

鉄道ファンが集う市内の鉄道Bar。お客さんが持ち込んだNゲージを走らせている様子を目を細めて眺めるのは、株式会社マイクロエースの有井利行代表取締役です。

Nゲージは、線路の幅が9ミリで統一された日本で最も普及している鉄道模型。国内約60のメーカーがひしめくこの業界で、シェアの8割を占める大手3社の一つが、蕨市北町にある株式会社マイクロエースです。業界内で特に異彩を放っているのは、その圧倒的な商品数です。他のメーカーでは取り扱っていない車両や各年代で変化していく車両を年代ごとでしっかりと再現。それらの商品は、膨大な資料や調査を基に繊細なディテールを備えており、精巧な作りがコアなファンのハートを掴んで止みません。「思い入れの強い車両は人それぞれ。一人でも多くのファンの夢を叶えてあげたい——。」と、他社を圧倒する商品化への想いを、有井さんは語ります。

そんな有井さんが特に思い入れの強い商品が、世界初の高速鉄道車両、新幹線0系（大窓）です。1964年東京オリンピックの直前に開通し、夢の超特急と呼ばれたこの車両の第一号は、かつて市境にあった日本車輛蕨工場で作られ、蕨駅から出発しました。「蕨駅は歴史が古く、蕨工場で働く大部分は蕨の人たちだった。蕨は鉄道のまちなんです。」そんな歴史と共に商品化された同車両は、すべて完売し、現在は会社に見本として残っているのみ。しかし——。「私たちは夢を売る会社です。今後あつと驚く企画があるかもしれません。」と、有井さんは笑います。



撮影協力:蕨 鉄道



14,000円(税別)



大荒田交通公園に展示されているC11-304



蕨駅を出発する0系新幹線電車(1964年2月15日)

## 蕨のシンボル 縮尺1/150で精密に再現

マイクロエースの魅力はそれだけではありません。それは蒸気機関車の商品です。これまで旧国鉄によって開発されたものは全て製造販売しており、その強みを生かして商品化されたのが、大荒田交通公園のシンボルとして展示されている「C11-304 蕨保存車」です。

C11は1932年から1947年まで製造された日本を代表するタンク式蒸気機関車で、304号機は1945年に製造されました。太平洋戦争により、資材や工数が節約されたため、角形の砂箱と蒸気ドームおぼが特徴となっています。約20年の使命を果たした後、旧国鉄のご厚意で、大荒田交通公園に移設されたこの蒸気機関車を1/150のスケールで可能な限り忠実に模型化。展示用レール、囲いのフェンスパーツも同梱されており、大荒田交通公園での展示の雰囲気をご自宅で再現できます。

蕨ブランド認定直後に開催された第6回SLまつりでは、本物の蒸気機関車の横でNゲージが走る姿に、多くの親子連れが目を見張っていました。

蕨を盛り上げたいと、ふるさと納税返礼品として開発された同商品。今後は市内のイベント等でも販売します。是非お手元で、思う存分この可愛い蒸気機関車を走らせてあげてください。



SLまつりでの試乗体験



段ボール電車デザインコンテスト



業界三大大手の1つ、株式会社マイクロエース

### 株式会社マイクロエース

住 所 蕨市北町5-11-2  
電 話 048-444-2944  
ホームページ <http://www.microace-arii.co.jp/>  
問い合わせ 平日 9:00~12:00 13:00~17:00  
※マイクロエースでは、販売は行っていません。  
市内イベントほか、市民体育館で購入できます。

## Interview

2013年の蕨駅開業120周年を機に、市民有志と市の協働で立ち上がった「鉄道のまち・蕨」のシティプロモーション。協賛のお声がけをいただいたとき、地元・蕨のためにと快諾。わらてつまつりの段ボール電車デザインコンテストでは、審査員として、子ども達が一生懸命作った作品を見るのが何よりの楽しみです。未来の鉄道ファンが蕨で育まれていることを実感します。

大手が手を出さないような車両を、小規模な我が社だからこそ商品化できるのが強み。ファンの声を大事にし、喜びと感動を届けられるよう、これからも技術を磨いてまいります。

株式会社マイクロエース  
ありい としゆき  
代表取締役 有井 利行さん

## 洗練された機能性やデザイン 蕨発の革新的なスポーツウェア

住宅街で目を引くお洒落な外観。セミオーダーのオリジナルブランド「elevemumu (エルベムム)」を手掛けているアパレル、株式会社ニニです。デザインから製造、販売までの全ての工程を自社でできる数少ないメーカーが、その技術の粋を集め開発したのが「双子織トラックジャケット」です。

スポーツウェアの主流であるポリエステル素材は、防寒着としては最適ですが、汗が蒸れる欠点があります。しかし、撥水加工を施した超高密度の双子織なら、ある程度の雨、風を防ぎながら保温性にも優れ、なおかつ汗などの蒸れをゆっくりと逃がしてくれる——。マラソンが趣味の同社デザイナー・保坂郁美さんのアイデアが、革新的なウェア誕生の第一歩でした。

試作を行い、フルマラソンを試走したモニターの感想で、そのアイデアは確信に。更に改良を重ねるなかで、機能性やデザインをとことん追求しました。レース中の急な環境の変化にも対応できるように、袖は走りながら取り外してベストになるほか、フロントファスナーは簡単に着脱できるように、YKKの裂けるファスナーを採用。ほかにも、郁美さん自身がランナーの観点から「あったらいいな」を形にしたデザインは、機能性だけでなく、スタイリッシュなフォルムを有した一着です。

こうして完成した商品は、世界で最も過酷と言われる砂漠マラソンのランナーの目に留まるなど、注目度も高まっています。「綿素材のスポーツウェアは珍しい。一着、一着丁寧に作って、蕨が誇る双子織を世界に発信していきたいです。」ニニの挑戦はまだ始まったばかりです。



カラー：ピンク、ブルー  
サイズ：男女共用 (S・M・L)  
39,000円(+税)



袖は簡単に取り外せてベストに  
外した袖は背中のポケットに収納可能

## 捨てないアパレルを目指して

SDGs (持続可能な開発目標) が注目されるなか、ニニが新たに取り組む企業理念が「捨てないアパレル」です。毎年変わる流行や、手頃な価格でお洒落を楽しむファストファッションの影響もあり、服飾業界は廃棄がとて多い業界です。常に新しいものを追求していくことはファッション業界の使命であると同時に、匂いを逃した素材は廃棄の対象になる——。このジレンマから導き出された答えが、グレードアップリメイク事業でした。

一念発起のきっかけは、あるお客様の着物のリメイクを受けたことからでした。生地や仕立て方が異なる着物を洋服にリメイクする難しさは想像以上です。技術とセンスが問われるなか、素材と丁寧に向き合い、お客様との楽しい会話からデザインを提案。「商品をお渡した時のお客様の驚きと喜びの表情が忘れられない。」と、顔をほころばせる郁美さん。

思い出の詰まった品物を、家族に末永く愛されるアイテムに。これからもお客様に寄り添ったご提案をしていけたら——。時を超え、家族と繋がる物語を紡ぐ。捨てないアパレル・ニニの使命として、リメイク事業を積極的に取り組んでいます。



あなたの想いをカタチにします



1階は店舗兼ショールーム

襟元にはフードも収納。反射板でさりげないお洒落を演出。

綿素材の双子織の肌触り、伸縮性のあるカットソー生地との組み合わせにより、運動着としての着心地を追求。

老若男女、着やすく事故無く着用できるよう、フロントファスナーはYKKが独自に開発した裂けるファスナーを採用。

走りながら袖の取り外しができ、瞬時にベストに。ランナーの環境の変化にも対応。

撥水加工を施した超高密度の双子織生地が、ある程度の雨、風を防ぎながら保温するとともに、汗などの蒸れを緩やかに逃がします。

撮影協力：保坂 郁美さん



ニニの技術力を支えるスタッフの皆さん



四季の彩りが感じられるお洒落な外観

### 株式会社ニニ

住所 蕨市塚越5-50-4  
電話 048-441-6581  
ホームページ <http://www.nini.co.jp/>  
営業時間 10:00 ~ 19:00 ※日曜日、祝祭日は休業

## Interview

仕事柄、世界中の様々な生地と接する機会が多いなかで、双子織の品質は群を抜いています。これほどの高品質な綿素材が約100年前に蕨で生まれ、一度は幻の織物と言われながらも、郷土史研究家をはじめ関係者のご尽力により、奇跡の復活を果たした——。蕨の長い歴史の中で、これ以上にドラマティックで話題性のあるモチーフはありません。

デザイナーは常に新素材を探しています。トラックジャケットを通じて幻の織物と言われた双子織を世界に発信し、注目されることで双子織の復興の一助になれば幸いです。



株式会社ニニ  
ほ さか たかし  
代表取締役 保坂 峻さん

## ビッグフラッグのパイオニア 巨大なフラッグに魂を込めて

「日本一小さな市・蕨で、日本一大きなフラッグを作っています。」と笑顔で話すのは、有限会社染太郎の代表取締役・影山洋さんです。錦町にある染太郎は、スポーツ会場でよく目にする巨大なフラッグ・通称ビッグフラッグのパイオニアで、埼玉スタジアム2002のこけら落としで初めて使用されて以降、様々なスポーツに波及。今では年間1000点を超えるフラッグが北は北海道から南は沖縄まで全国に届けられるなど、この分野で日本一の実績を誇ります。

ビッグフラッグはデジタルプリンターから出てきた幅120cmほどの布を縫い合わせることによって作り上げます。そのため、大きな旗を作るには何度も正確に縫い合わせる必要があり、熟練した技術が求められます。染太郎では、これまでに長さ145mの巨大なフラッグを手掛けたことも。「布には大きな力があります。技術が進んだ今でも、デジタルプリンターではなく、手染めで作ってほしいとの依頼もあります。手染めはやっぱり味わいが違いますね。」と影山さん。

そんな影山さんのポリシーは「心に刺さるモノづくり」です。郷土愛にあふれ、時には採算度外視で請け負うことも。その一つが自身の母校である西小学校のビッグフラッグです。2011年の東日本大震災を機にメッセージ性のあるものを残したいと、10年かけて完成する校章のビッグフラッグを提案。毎年巣立っていく6年生に将来の夢などを寄せ書きしてもらった同企画は、2020年に完成を迎えます。ほかにも、双子織のれんアートの受注など、地元・蕨の発展に協力を惜しみません。



影山さんが手にするのは、アイツのために特注の——



1,500円(+税)



郷土愛から生まれたわらびりんご姫と西小ビッグフラッグ(縦12.3m×横24m)



観客席いっぱい広がる長さ145mの巨大なフラッグ

## 番組企画から生まれた郷土愛あふれるTシャツ

常に心に刺さるモノはないか——。少年のようなワクワク感を大切に遊び心あふれる影山さんは、ご当地キャラクター、わらびりんご姫をはじめ、昭和をテーマにした紅白歌合戦など、様々な企画を生み出しています。今回、蕨ブランドの認定を受けた「蕨書き順Tシャツ」もその一つです。

2008年のテレビ番組の企画で、蕨らしい商品の開発を依頼された影山さんは、ふと、蕨の漢字を書き順にしたら——とアイデアが。「蕨って、市外の人には読めないし、書けない。なら、教えてあげたらいいじゃない。」画数をビジュアル的に6つにまとめたのは、「人の心に刺さるモノって一目で分かりやすくなくちゃいけない。」という影山さん流のこだわり。このアイデアがヒットし、番組の企画だけにとどまらず、以降は、蕨のお祭りの定番アイテムとして、毎年、表面を新しいデザインにして販売され、固定客もいるほど息の長い商品となっています。

「これまでに手掛けたTシャツは1万枚。単純に蕨市民の7人に一人は持っている計算になります。」と、すぐさまビジュアル化。「でも、まだアイツが持ってなかったな。」と意味深な笑みを浮かべる影山さん。蕨を愛し、常に芯をつくモノづくりに取り組む染太郎から、今後も目が離せません。



染太郎の原点・手染め作業



熟練した技術を要する縫製作業



国道17号沿いにある有限会社染太郎

### 有限会社染太郎

住所 蕨市錦町1-3-1  
電話 048-441-9271  
ホームページ <http://www.sometarou.co.jp/html/>  
営業時間 平日 9:00~19:00  
※販売は、蕨市観光協会や市内のお祭りで行っています。

## Interview

染太郎の由来は、1994年の創業当時は手染めで製作していたことからです。デジタル化が進み、便利になっても、肝心な部分は手を掛けたい。それがグサツと心に刺さるモノづくりだと思います。

蕨書き順Tシャツは、蕨でなくては成立しない企画。蕨生まれ蕨育ちの先輩として、次代を担う子ども達に郷土愛を大切に、常に新しい可能性を見出してほしい。そんな想いで、面白そうなることを常に考え、思いついたら即実行。その姿勢から生まれたものです。

夢はでっかく、いつか、富士山の麓に日の丸のビッグフラッグを。これからも果敢に挑み続けます。

有限会社染太郎  
代表取締役 影山 洋さん



## 粋に日陰を持ち歩く 双子織の特長を生かした逸品

日傘男子——。2013年に新語・流行語大賞候補にもなったこのワード。近年の猛暑を受けて、2019年には環境省が熱中症のリスクを減らすために、女性だけでなく男性にも日傘の使用を呼び掛けるなど、ブームの兆しを見せています。

「生地を見たときに、双子織の特長が日傘に適していると、ピンと来たんです。」と話すのは、双子織を使った工芸品を作り続けている、蕨双子織夢工房・代表の中谷忠男さんです。

幕末に蕨で生まれ、明治30年代に隆盛を極めた双子織は、1cmあたり72本もの木綿糸が重ねて織られているため、丈夫で決して透けることなく、木綿でありながら絹のような光沢を持つ高品質な蕨の伝統織物です。中谷さんはこの双子織の特長に着目し、日傘の商品化に取り組みました。

超高密度の生地がほとんど日を通さない上に、UV加工を施すことで100%に近いUVカット率を実現。更にはUV加工により、双子織の絹のような光沢、鮮やかな縞模様も色褪せません。撥水加工も施しているので、急な雨にも対応できます。また、上品で和テイストな造りが蕨ブランド認定審査会でも高評価。様々なニーズに対応するため、折り畳み式も展開しているほか、反物からお好みの柄をお選びいただき、あなただけのオリジナル日傘も作ることができます。

環境省によると、日傘を差すことで汗の量が約17%減少すると言われています。双子織日傘で粋に涼を楽しむ——。ビジネスマンの定番スタイルとして、この夏からデビューしてみませんか。



蕨双子織

19,000円(税別)

サイズ:50cm

持ち手には牛革に

蕨双子織のロゴを刻印

19,000円(税別)  
サイズ:55cm/60cm  
持ち手には牛革に  
蕨双子織のロゴを刻印

お好きな柄を選んであなただけのオリジナル日傘に

## 双子織の復興を願い作品づくり

表具という言葉をご存知ですか。ニカワで紙と生地を貼り合わせて掛軸や屏風などを仕立てる、古代中国発祥の伝統技術です。京都で表具師としての技術を学んでいた中谷さんは、新たなモノづくりに挑戦しようと様々な文化に触れているときに、双子織に出合い一目ぼれしました。

高品質はもちろんのこと、双子織特有のシンプルで粋な縞模様、表具師としての創作意欲を掻き立てられた中谷さん。双子織を使った掛軸などが評判になり、工作教室を開くように。針と糸を使わない中谷さんの講座は、誰でも簡単に双子織作品を作ることができます。現在では会員は100人に上り、蕨双子織夢工房を立ち上げ、表具だけでなく、財布やバッグ、アクセサリーなどの和小物も制作し、苗木市や宿場まつりへの出店や、展示会も開催するようになりました。

「双子織を身近に感じてほしい、蕨にこんなにも素晴らしい織物があるということを知り、多くの人たちに知ってもらいたい。」と、会員の皆さんとともに創作意欲は尽きません。

なお、蕨双子織夢工房が手掛ける、双子織日傘とアクセサリーは「WARABI SELECT SHOP」で、その他の作品は市内のイベント等で購入できます。



双子織体験教室(西公民館)



蕨双子織アート作品展(蕨市民会館)



苗木市や宿場まつりでの出店では和小物作品が充実

### 蕨双子織夢工房

電話 070-6473-5335

\*双子織日傘は「WARABI SELECT SHOP」ほか  
蕨商工会議所の「蕨双子織特設ページ」  
<https://futako.saitama.jp/shoplist/> から購入できます。蕨双子織夢工房  
なかやただお  
代表 中谷 忠男さん

## Interview

蕨の伝統織物・双子織に一目ぼれし、双子織の復興に尽力したいと取り組んだ結果、蕨ブランド認定を受けられてたいへん嬉しく思います。

埼玉県では、いち早く日傘利用を呼び掛けるなど、熱中症対策に力を入れています。蕨市でも、今回の認定を機に、男女問わず日傘を差す習慣が広がればと願っております。

オーダーメイドでは反物から色をお選びいただき、様々な用途に合わせて、一本一本丁寧に手作りいたしますので、軽くて丈夫で上品な、双子織日傘を皆さんぜひ、ご愛用ください。



## 味や形にこだわり開発に2年 蕨の新名物誕生

餡を優しく包み込むわらび餅のみずみずしい触感、口の中に広がる上品な甘さのこしあんとのバランスが絶妙な新感覚のわらび餅——。それが、蕨の新しい名物「わらびの蕨もち」です。

「蕨には地元のお土産がない」という市民の声に応えようと、蕨商工会議所が一念発起。八天堂のくりむパンなど数々のヒット商品を手掛ける株式会社生産者直売のれん会とタッグを組み、蕨市全国展開プロジェクト推進委員会を設置。女性をターゲットとした「100年後も愛されるホンモノ志向」を商品コンセプトに、京都や奈良のわらび餅の老舗を訪ね、様々な味や製法を学び、2年の歳月をかけて一から試作に取り組みました。

わらび餅は、生の状態に近いほど味のクオリティが上がりますが、賞味期限が短く土産物には適しません。市内でマーケティング調査を行った結果、土産物に適した賞味期限は2週間。何度も改良を重ね、土産物としての賞味期限を保ちつつ、生のような触感と口どけ感を実現しました。

こだわりは味だけではなく、味のインパクトに加え、食べやすさも追求。シート状の餅にきな粉パウダーをまぶし、こしあんを包んで味に特徴を出したのは、推進委員会でのアイデア。更に女性メンバーの意見で、「きな粉が口の周りにつかないように」と、一口サイズの可愛い和菓子が誕生しました。また、商品名は蕨市の地名を最大限に生かそうと、市名を重ねた上に、あえて漢字を使うところを逆にして「わらびの蕨もち」に。ネーミングのインパクトも蕨の土産物としてピッタリです。



290円(税別)



一口サイズの蕨もちが4個入ってます



蕨もちをはじめ、双子織を中心とした商品が並び店内



リノベーションによりオープンした「WARABI SELECT SHOP」

## 新たな販わい創出の起爆剤に

こうして味にも形にもとことんこだわった商品は、都内のデパートや駅構内などのテスト販売で更に自信を深めるとともに、蕨商工会議所では、商品化に向けて、独自の技術を持つ京都の老舗和菓子店に製造を委託、販売元となる一般社団法人蕨ブランド協会を立ち上げました。

満を持しての販売開始は2019年10月1日——。場所は、中央3丁目の空き店舗をリノベーションしてオープンした「WARABI SELECT SHOP」です。一般社団法人蕨ブランド協会が運営する同ショップでは、蕨もちをはじめ、蕨の伝統織物である双子織の商品を取り揃え、店内に設置された機織り機を使ったワークショップも開催するなど、双子織の発信基地として期待されます。

多数のメディアも取材に訪れたオープン初日、販売を待ちわびた人たちが店内は賑わい、用意された400個は即日完売となりました。1パック4個入りで290円(税別)と手頃な価格も受けて、その後も入荷待ちが続くなど早くもヒット商品となっています。

日本一小さな市・蕨発の小さな蕨もち。小粒の中にこだわりがいっぱい詰まったご当地和菓子ぜひ、ご賞味ください。



試食を重ねるプロジェクトの皆さん



多くのメディアに掲載され話題に



店内で行われている双子織機おり体験教室

### WARABI SELECT SHOP

住所 蕨市中央3-6-4  
電話 080-7700-0550  
ホームページ <https://www.warabiselect.shop/>  
営業時間 10:00 ~ 18:00 ※日曜日・祝祭日は休業

## Interview

全く新しいホンモノ志向の土産物を開発しようと、市場のニーズ調査から始まり、テスト販売を繰り返し、丁寧に作り上げ完成した商品です。

「蕨の土産物」として、まずは地元の皆様に気に入ってもらいたい。「わらびの蕨もち」と、商品名に蕨を使用するのは当地域だけの強みであり、この商品が外に出ることにより、シティセールスにつながることも期待しております。

今後はお客様の声を第一に考え、味のバリエーションを増やすことも検討しております。ぜひ、お召し上がりいただけたら幸いです。



一般社団法人蕨ブランド協会  
代表理事 徳丸 平太郎さん

# 蕨ブランド認定品 お買い物MAP



## このマークを目印に!

蕨ブランド認定品ロゴマークは、市制施行50周年を記念して制定した蕨市のシンボルマークをモチーフにしています。  
 緑色は蕨市を、赤色の輪は市民の交流、ふれあい、まちづくりを、翼に見立てた水色は、蕨市の発展、飛躍を表しており、認定品を通じて、蕨を広く発信し、蕨ブランドに携わっている事業者の皆さんの飛躍や発展、認定品をご愛用いただくことで交流の輪が広がることを願っています。

## 第一期認定品

### IBIZA双子織バッグ

#### 株式会社ワイアンドシー

住所 埼玉県蕨市塚越2-11-20  
 電話 048-434-1002  
 ホームページ <https://futako.saitama.jp/item/ibiza/>  
 ※蕨商工会議所「蕨双子織特設ページ」イビザ商品一覧  
 営業時間 平日 午前9時～午後5時  
 ※ワイアンドシーでは、販売は行っていません。  
 認定品は銀座ショールームか「WARABI SELECT SHOP」または上記HPから購入できます。



### 蕨上田オリジナル着服

#### 有限会社上田衣料

住所 埼玉県蕨市塚越2-3-13  
 電話 048-442-0295  
 ホームページ <http://store.shopping.yahoo.co.jp/tobiwarabiueda/>  
 営業時間 平日 午前8時～午後8時  
 日・祝日 午前9時～午後8時



### 蕨硝子(河鍋暁斎シリーズ)

#### 株式会社ブラスト工房

住所 埼玉県蕨市北町3-6-2  
 電話 048-475-4839  
 ホームページ <http://blastkoubou.co.jp>  
 営業時間 平日 午後1時～5時



### 蕨双子織ショルダーバッグ

#### 有限会社クチュールカワムラ

住所 埼玉県蕨市中央3-2-9  
 電話 048-445-4305  
 ホームページ <http://couture-kawamura.com/>  
 営業時間 午前10時～午後7時(水曜日定休)



認定品

## 1 C11-304 蕨保存車

### 株式会社マイクロエース

住所 蕨市北町5-11-2  
 電話 048-444-2944  
 ホームページ <http://www.microace-arii.co.jp/>  
 問い合わせ 平日 9:00～12:00 13:00～17:00  
 ※マイクロエースでは、販売は行っていません。  
 市内イベントほか、市民体育館で購入できます。



認定品

## 2 双子織トラックジャケット

### 株式会社ニニ

住所 蕨市塚越5-50-4  
 電話 048-441-6581  
 ホームページ <http://www.nini.co.jp/>  
 営業時間 10:00～19:00 ※日曜日、祝祭日は休業



認定品

## 3 蕨書き順Tシャツ

### 有限会社染太郎

住所 蕨市錦町1-3-1  
 電話 048-441-9271  
 ホームページ <http://www.sometarou.co.jp/html/>  
 営業時間 平日 9:00～19:00  
 ※販売は、蕨市観光協会や市内のお祭りで行っています。



認定品

## 4 双子織日傘

### 蕨双子織夢工房

電話 070-6473-5335  
 ※双子織日傘は「WARABI SELECT SHOP」ほか蕨商工会議所の「蕨双子織特設ページ」<https://futako.saitama.jp/shoplist/>からも購入できます。



認定品

## 5 わらびの蕨もち

### 一般社団法人蕨ブランド協会 WARABI SELECT SHOP

住所 蕨市中央3-6-4  
 電話 080-7700-0550  
 ホームページ <https://www.warabiselect.shop/>  
 営業時間 10:00～18:00 ※日曜日・祝祭日は休業



### わらびりんごサイダー

#### わらびりんご生産管理団体

(蕨市商工生活室内)  
 電話 048-433-7750  
 ※サイダーはスマイラ松原売店か市民体育館で販売しているほか、市内の催しで購入できます。



### 公益財団法人河鍋暁斎記念美術館

住所 埼玉県蕨市南町4-36-4  
 電話 048-441-9780  
 開館 午前10時～午後4時  
 (木曜日、毎月26日～末日は休館)



本文中の価格表示は税別です。また、商品等に関する情報は2020年2月現在のものです。



【発行】蕨市

【問い合わせ】商工生活室

〒335-8501 蕨市中央5-14-15 蕨市役所2階

電話 048-433-7750

E-mail [shouko@city.warabi.saitama.jp](mailto:shouko@city.warabi.saitama.jp)

2020年2月